

## ～平成29年度 地区懇談会の振り返り～

地区懇談会は、魅力ある地域づくりを進めていくため、また、地域における様々な課題を解決するため、地域にお住まいの皆様自身が考え、話し合い、行政と情報交換を行う場として区内の各連合地区で開催しているものです。

平成29年度は6月13日から10月17日までの間に開催され、延べ688人の参加がありました。

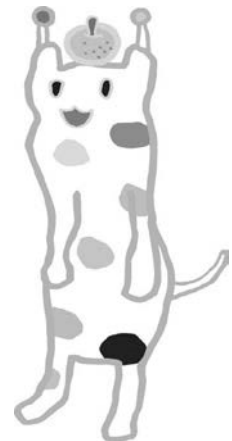
### 地区懇談会開催日程及び参加者数一覧

地区	日程	参加者(人)
戸塚第一	10月17日(火)	26
戸塚第二	8月27日(日)	17
戸塚第三	7月15日(土)	37
踊場	6月29日(木)	37
北汲沢	6月13日(火)	29
川上	9月9日(土)	71
柏尾	7月8日(土)	51
東戸塚	8月19日(土)	29
平戸	7月15日(土)	31

地区	日程	参加者(人)
平戸平和台	7月2日(日)	42
上矢部	8月26日(土)	40
名瀬	8月26日(土)	45
大正	9月30日(土)	56
汲沢	8月26日(土)	54
上倉田	6月24日(土)	54
下倉田	7月16日(日)	49
吉田矢部	7月22日(土)	20
参加合計人数(人)		688

### 地区懇談会テーマ別の概要

項目	地区数	テーマ数(件)
○ ハートプラン・福祉関連	10	23
○ 道路・交通関連	8	15
○ 防災・防犯関連	7	13
○ その他	3	5
※ 区運営方針	6	6
テーマ数合計(件)		62



戸塚区のマスコット ウナシー

# 地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

## 戸塚第一地区

### 1 ハートプランについて

- ◇ 戸塚区域を対象とする福祉保健計画（第3期とつかハートプラン）の概要について、4つの基本目標と取組等について説明。

### 2 戸塚第一地区ハートプランの活動内容

#### (1) 戸塚第一地区ハートプラン推進委員会の活動

- 戸塚第一地区第3期ハートプラン完成までの道程について紹介。今期計画から連合町内会エリアを単位とした計画となり、様々な活動をなされている多くの方々に委員となっただいた。地域の魅力や特徴的な活動など地域内の取組を整理し、アンケートを行い、キャッチフレーズを作成し、今後の進め方についても話し合っ、プランが出来あがった。

#### (2) 四丁目プロジェクトの活動

- 取組の視点は、高齢者の抱えている課題を「『他人事』から『我が事（自分ごと）』」と捉え、「自分たちに何かできることはないか」という声が上がったこと。
- 取組の視点は、①住民の「自助力」を向上させる ②日常生活を送る中での住民の「目配り」「気配り」「気づき」をいかす ③「つながり」は身近な地域でこそ必要
- 取組内容は、①自助力向上：「救急安心カード」「私の安心カード」の作成 ②互助・共助の充実：見守り体制「きづき隊」の結成 ③居場所づくり：「ふれあい交流サロン」開設
- 成果と今後 ①「救急安心カード」「私の安心カード」の配布 ②「きづき隊」の研修と定期連絡会開催 ③「ほっとサロン」10月11日開設 ④住民支えあいmapによる課題抽出 ⑤単位町内会で始めた活動が地域内に広がった

#### (意見交換（出席者は4グループに分かれ、地域の良いところ等について意見交換）)

- Aグループ ・ イベント参加者が担い手になった ・ 自治会役員の一年交替は経験者増のメリットあり  
・ 町内会でバスツアー開催 ・ 防災訓練をきっかけに地域活動に参加してくれる
- Bグループ ・ 富塚八幡での活動は参加者が多い ・ 公園でラジオ体操、清掃活動がある ・ 環境がよく、駅に近く、桜がきれい ・ 宿場町の伝統、住民のコミュニケーションがある
- Cグループ ・ 高齢の方が元気 ・ 若い世代が増え、担い手に入ってもらえるようになった ・ 行事やイベントが盛んな地区 ・ 役割分担をして多くの方に関わってもらう
- Dグループ ・ ずっと住み続けて地域に愛着がある ・ 若い方のレク企画に多くの人に参加 ・ 神社で獅子舞やお囃子を実施 ・ 地域の旅行会でコミュニケーションが活発化

## 戸塚第二地区

### 「横浜市自転車総合計画」と安心して乗れる自転車のルール(みんなのサイクルルールブックよこはま)

- ◇ 横浜市自転車総合計画概要版とみんなのサイクルルールブックよこはまコンパクト版を使用して本市の自転車総合計画の内容と現在の自転車に関するルールを説明
- 長後街道に設置予定の自転車レーンはどうなるのか。
- ◇ 「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議」で計画等を検討してルール作りなどを行っていく。
- 自転車用通行帯が出来た後、以前は標識が設置され、自転車に乗っての通行ができる歩道はどうなるのか。
- ◇ 自転車通行可の標識がなくなり、自転車は通行できなくなる。
- ルールも大切だが取り締まりの強化が必要。長後街道は駅に向かい下り坂で、スピードがでやすい。取り締まりは警察しかできないのか。
- ◇ 警察しかできない。駐輪禁止区域の係員等による啓発は可能。
- 自転車販売時に販売店に購入者へルールの説明を義務付けてはどうか。
- ◇ 販売店にはルールブックを送付している。配布協力依頼はできるが、義務化は困難。
- ルールを守ってもらうことも大切だが、物理的な対策も必要。長後街道部分だけの整備では不十分。自転車専用道路を延伸・網羅していく長期計画が必要。戸塚駅周辺で自転車通行帯が設置されている所はあるか。
- ◇ 自転車通行帯はない。ナビゲーションラインが引いてある箇所はある。
- 交通安全母の会で保護者向けの教室を行っているか。
- 園児向けは行っているが、保護者向けはない。
- 戸塚駅周辺でシェアサイクルを採用してはどうか。
- 自転車で車道を走るときの速度制限は。
- ◇ ない。電動アシスト自転車は時速30キロまでしか出ない仕組み。
- 子どもより親の教育が必要。実態に合った教え方が大切。

## 戸塚第三地区

### 1 戸塚駅西口付近の交通等の対策について

- ◇ まちづくり調整担当より戸塚駅の東口側・西口側の各課題について説明。
- 住宅展示場前の道の拡幅は29年度中に実施するのか。現状の道幅は、拡幅後はどの程度になるか。
- ◇ 秋以降に着手するが、夜間工事が中心になり、工期が長くなってしまうと聞いている。現状の道幅は1mで、拡幅後は2.5m程度になる。
- バスの発着台数を西口に持ってくるなどの案があるのか。それとも、これから意見を聞くという段階なのか。
- ◇ 東口に明治学院大学行きのバスが3～5分に1本入ってきている。混雑緩和のために、このバス停を他に移せないか検討している。もう一つ、東口から不動坂、大山跨線橋を通る路線を西口に持ってくることも検討している。
- 矢部跨線人道橋の降りる場所を蔵坪公園に入れてはどうか。
- 大踏切デッキに自転車走行禁止の看板があるが徹底していないので音声案内を流すようにできないか。
- 坂本道路にバスを通すことについて、地元町内会として要望がある。
- 不動坂経由瀬谷方面のバスを西口に移転させることと柏尾方面のバスを移転させることは分けて考えるべき。
- 西口第2バスセンター付近の横断歩道に信号機を設置してほしい。
- 第2バスセンター付近のJR敷地をバスターミナル拡幅用地や駐輪場用地とすることはできないか。

### 2 戸塚駅周辺喫煙禁止地区指定について

- ◇ 横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例に基づく戸塚駅周辺の喫煙禁止地区の指定について説明。
- 場所はもう確定しているのか。人から見えないところで吸っているなどの問題もあわせて考えてほしい。
- ◇ 場所、設計などはまだ確定ではない。バスを降りてトツカーナに向かう人が線路沿いを歩きながら吸い、吸い殻を捨てていく人が多い。そういう人たちへの抑止効果も考えている。喫煙者が多くても、店の看板が隠れてしまったり、消火栓があつたりすると、設置場所とできない。
- 西口の方は駅から少し離れたところに喫煙所を設置する予定になっているが、駅周辺の喫煙者が減らないのではないかと懸念している。駐輪車が多いところに設置すれば減るのでは。
- ◇ 提案の場所も検討したが、反対側がバス停になっており、タバコの臭いが問題となる。階段もあり、煙が階段上にのぼってしまうので、設置場所の案にはいれなかった。

## 踊場地区

### 1 踊場地区の未来を考える ～シニアのいきいきライフ～

#### (1) 高齢者が安心して暮らせるまち「踊場」のために

- シニアのニーズ調査結果説明。資料1（国勢調査データ、汲沢1～4丁目の年齢3区分別人口他）。資料2（踊場地区の「いま」「これ」カード（高齢者の暮らしに関し、各団体役員等に記載いただいた調査。2016/9～12）の集計から見えてくる踊場地区の姿）の解説。

#### (2) 皆で考える「シニアのいきいきライフ」

##### 〈まちの未来づくりに向けてのアイデアミーティング〉

- 若い時から啓発が必要。催しを多く開催。参加して仲間づくり。連合でもイベントを。
- 自分の好きなことを行い、多世代の方々と交流する機会を。
- 行事食を提供することで顔見知りになる。
- 愚痴の言える所を作る。自分がいられる場所を幾つも作っておく。
- クローバースポーツクラブや地区センターを活用して健康づくりを。
- 坂の途中に座れる椅子を設置。休憩所プロジェクトを考えていきたい。町内会館でのカラオケも。
- 老人クラブがあるのは14町内会の1/2、地域全体でカバーしたい。
- 学校行事への参加、授業を見てもらうことに取り組んでいる。
- 認知症の方々への対応のため、連合でリーダー養成を。地域を歩くコースマップを連合で作るのも良い。
- チョコボラも5年が経過、知名度が課題。子供たちによるゴミ出しや、シニア110番の家もあると良い。
- サロンやカフェに出向くのは大変、どこでもカフェを作っては。
- 話を聞くだけで病気も半分ぐらい良くなる。アンケートでも「話をすると良い」という人が多い。
- 健康づくりのために散歩コースを作り、冊子にして配布すると良い。出てこられない方々への配慮が必要だ。
- 災害時の避難に関しては、地域を挙げて一度訓練を実施すべき。
- ログハウスでは子供もシニアも一緒に参加できる行事もある。
- 高齢者に来場いただくためには「お土産大作戦」も有効。

## 北汲沢地区

### 1 平成29年度 戸塚区運営方針について

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取り組みの考え方」を解説し、運営方針に掲載されている平成29年度に実施する主な事業を紹介。

### 2 連合独自の3つの統一活動(防災・防犯・清掃)

- 北汲沢各町内会年間行事一覧により、3つの統一活動の情報を共有。

### 3 ハートプラン地区別計画の具体的推進内容

- 昨年度ハートプラン補助金を活用して、「活動のパネル」30枚を作製。様々な行事等で掲示することで地域の取り組みに関する理解を深めてもらっている。

### 4 公益社団法人北汲沢地域総合福祉活動委員会の事業活動とアンケート調査結果に見る地域住民の意識

- 公益事業比率は89.01%。平成28年度事業実績は外出支援回数が2,100回の送迎で11,501km。このほかに樹木剪定などの日常支援も行っている。  
アンケート調査は、前回2009年に実施。地域の方々の考えを把握するもの。愛着度は高くなっており、住みやすさが実証されたものと考えられる。  
委員会事業に対する利用希望も、外出支援・日常支援とも増加している。

### 5 3つの地区連合との連携強化による健康づくりや福祉活動の交流活動

#### (1) ねむのき会配食の取り組み

- 高齢者世帯などを対象とする活動は平成9年に誕生し21年目。民生委員児童委員を中心に62名が毎月1回の配食と年2回の会食を実施。1食300円で年間1,584食を提供した。

#### (2) クローバースポーツクラブによる汲沢地域住民の健康づくり

- 活動は14年目を迎え、総合型地域スポーツクラブとして横浜市有数の規模。13種目の活動が行われ、卓球・健康体操・バドミントンの参加者が多い。「健康づくり」「仲間づくり」「まちづくり」をスローガンに参加を呼び掛けている。

#### (3) 保健活動推進委員会の多彩な健康づくり活動

- 講演会を中心に活動している。28年度は「腸」、29年度は「薬」をテーマに区役所薬剤師にお願いする計画。民生委員と共催の若い母親向けの乳がんの自己診断の方法などは好評。熱中症のチラシを掲示板に掲出して注意を呼び掛ける取り組みを実施中。

#### (意見交換等)

- 町内会館が立退を求められている。土地の斡旋や建設資金の助成はできるか。
- ◇ 新築・増改築等の助成制度がある。適地の情報提供は難しい。
- 踊場地区プランについて話してください。
- ◇ 区プランの改定に合わせ見直す。皆様から、ご意見をいただいて作成していく。

## 川上地区

### 1 横浜市・戸塚区の防災への取組について

- ◇ 市防災計画、地震防災戦略の概略（自助）家具の固定、建物の耐震化等（共助）地域防災拠点の役割、機能等（公助）公的機関の役割、機能。自助、共助、公助の連携の必要性。

### 2 各自治会・町内会の防災対策と今後の課題

#### (1) 秋葉町町内会

- 29年度は、消火栓等の位置確認や交換、初期消火訓練、防災・減災推進研修受講等を実施。今後は防災マップ等作成、防災組織見直し、消防団等との有機的な連携を検討。

#### (2) 前田町町内会

- 29年度は、①消火訓練、救助訓練、トイレパック配布 ②防災講演会、防災用品展示・販売 ③DIG図上訓練、主要道路の確認 ④防災委員会の実施

#### (3) 前田ハイツ自治会

- 29年度は、防災委員会立上げ、住民への啓発活動、フォローアップ研修受講。防災たより、共助マニュアルを作成。今後は本部防災マニュアル作成、人材登録、等を行う。

#### (4) グリーンコーポ自治会

- （ハード面）防災用品、備蓄品の準備を実施。課題は物資の運搬。（ソフト面）連絡先リスト、任務分担表、コーポ内の訓練、防災マニュアル作成を実施。課題は、名簿管理。

#### (5) グランドメゾン自治会

- 自治会の防災組織図説明。訓練項目が多すぎ、内容の理解不足を懸念。今後は防災クイズを実施してこども向け探検クイズを実施。

### 3 平成29年度 戸塚区運営方針について

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取り組みの考え方」を解説し、運営方針に掲載されている平成29年度に実施する主な事業を紹介。

#### (意見交換等)

- 平戸永谷川の水位情報が無い。
- ◇ 嶽下橋の情報は確認している。水位によっては避難情報の発信もあり得るが、情報が混乱をもたらすケースもあり、自治会町内会と顔の見える関係が構築された上で対処。
- 横浜市の災害情報はスマホで見ることができる。
- ◇ 防災メールもあるし、お呼び頂ければレクチャーに出向きます。

## 柏尾地区

### 1 地域内の県有地である柏陽台隣接緑地やシルバー健康広場等の活用を進めているが、所有者である県としての今後の意向やスケジュールについて。県営柏陽台APの空き室の発災時の活用について

- 平成32年度を目途に移管と聞くが、将来のスケジュールを伺いたい。
- ◇ 平成32年度末までに移管する。昨年度、境界は概ね確定。国有地は平成29・30年に払下を行い公団用地を確定。一部地権者と話が整っていない。施設整備は、29年度に協議用の図面を作成し、30年度に協議し最終図面を作成、31・32年に整備、移管を終了したい。
- 柏陽台アパートを災害時に活用できるか、可能な場合は、手続きについて伺いたい。
- ◇ 災害時に使わせることは出来ない。災害救助法上、応急仮設住宅が出来るまでの間、各自治体・公社等は、公的賃貸住宅を一時提供住宅として提供しなければならない。入居可能者要件も決まっている。地震発災後2・3日以内に住宅の安全性を診断し、受入準備を始める。発災直後、敷地内にテントを張ることは、手続きなしで構わない。

### 2 スクールゾーンを中心とした地域内通行ルール順守のための方策

- 昨年末、登校時に暴走するバイクがあり、2月に防犯カメラを設置し、戸塚警察署に取締を依頼。1週間白バイが巡回し、暴走バイクを確保し、登校時の暴走バイクは無くなった。
- ◇ スクールゾーンにおける見守り活動は、立派な安全教育の一つ。交通事の故防止には、①運転技術・能力を知る ②車両の性能・特性を知る ③健康管理の3つが重要である。
- 不動坂の交差点を渡り通学する児童が約80人いる。信号が短く30秒くらいで変わる。不動坂の交番に警官がいる際には、ぜひ、交差点に立って、指導していただきたい。
- 坂道を自転車を下りて来る子供がブレーキをかけず、車とぶつかりそうで危ない場面を見た。小学校の安全教室で、坂道の走り方も指導したほうがよい。

### 3 柏尾「子ども食堂」の運営について

- 現在、90人を超える利用者がある。本日の懇談会では主催者の思いを皆さんと共有するとともに、行政による取り組みの現状と上柏尾町内会の募金活動について紹介する。
- 昨年8月から自宅で開設。順調に利用者が増えている。当初想定していた経済的に困窮した子供のみを対象として開設することは困難だとわかり、現在は誰でも来てくださいというスタンスで、子供だけではなく高齢者も参加するなど多世代交流の場になっている。
- ◇ 横浜市の事業展開予定及び区内の「子ども食堂」の状況について説明。
- 「子ども食堂」への支援プロジェクトとして、町内会で募金活動を進めている。



## 東戸塚地区

### 1 平成29年度 戸塚区運営方針について

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取り組みの考え方」を解説し、運営方針に掲載されている平成29年度に実施する主な事業を紹介。

### 2 災害時に支援を必要とする方への地域での取組について

- ◇ 「災害時要援護者とは」「地域における要援護者の把握方法」「要援護者名簿提供までの流れと個人情報の取扱」について説明

#### (1) 県営川上第2団地

- 本年4月に災害時要援護者名簿を受領。平成20年以来孤独死が15名出ているが自治会は把握できなかった。自治会の戸別訪問等では情報が得られなかったため、区役所から通知し、90%の対象者の同意を得て56名の名簿を作成。名簿の管理者は自治会役員等8名、金庫で保管。350世帯中13%が日本語が通じず、高齢の方もいるので、対応が今後の課題。

#### (2) シーアイマンション東戸塚町内会

- 築40年以上で231世帯。住民名簿は入居時に管理会社が作成。災害チームを組織している。昨年、住民カードを各世帯に配布して、代表者名、緊急連絡先などを記入し、本人が保管し避難場所に行く際に持参することとしている。新規入居者には、名前や緊急連絡先、要支援の希望などを家族状況表に記載いただく調査を準備中。管理組合と連携し進めていきたい。

#### (3) 東戸塚地区民生委員児童委員協議会

- 1人の民生委員が担当する世帯数が増えている。75歳の一人暮らし高齢者世帯は平成24年から5年間で70人増加。平成25年度に要支援者リストを作成。情報開示を拒否する人は減ってきている。駅前高層住宅は340世帯で要援護者は30人。新しい集合住宅でも要援護者が少ないわけではない。災害時要援護者の取組を強化していく。

#### (意見交換等)

- 1400世帯中町内会加入は約800世帯。民生委員は町内会への加入の有無にかかわらず見守りを実施している。
- 町内会未加入者のリストをもらっても保管のしようがない。個人情報の管理も大変。
- 要援護者の把握を行うなら、向こう三軒両隣り方式がよいと思う。
- 東戸塚では「こころん」をまち中に広めていく。マスコットを会合等で配って欲しい。

## 平戸地区

### 1 平戸地区の安全・安心な街づくりのために

#### (1) 土砂災害ハザードマップに指定された危険地域の対応について

- ◇ 擁壁の安全基準や相談窓口・問合せ先等を紹介し、災害から身を守ることについて説明。
- 団地では50年以上経っている部分が多々ある。近隣の方が不安に思っている。どのような対策をとればよいか。
- ◇ 基本は持ち主が対策する。不安に思うことがあれば区役所・建築局に相談を。
- スクールゾーン対策協議会の際に話にあがった、崖について。
- ◇ 建築局で昨年現場確認をした場所ではないか、土地の所有者とは既に話をしている。戸塚土木事務所から相談者へも回答していると思われる。

#### (2) 東戸塚駅の朝夕通勤時の混雑緩和策のその後の対策について

- 乗客数の将来的な見通しは。
- ◇ 東部方面線が開業すると、東戸塚の乗降客数が若干減ると思われる。一方で開発等も考えると現在のレベルが続くとも考えられる。極端に増えるとは考えていない。
- 将来人口水準は、2020年に戸塚区は減少になる。それを踏まえると、今取り込んでいる対策は時代に合わなくなってくるのでは。東戸塚だけは変更しないのか。
- ◇ 戸塚区マスタープラン改定に伴う人口動態予測では、平成32年度をピークに減少傾向になると予測。JR2駅に通勤客が集中する状態は変わらない。工場からマンションへ変更している個所が多々あり、人口動態とは別に土地利用による変動も考えられる。
- ホームドア対策が一番現実的であるため進めてほしい。
- ◇ ホームドアは混雑対策ではなく、安全対策である。混雑緩和及び安産対策は車で言うと両輪であり、1つに絞るのではなく双方を進めていくことがベストだと思っている。JRとしても責務はあると自覚している。

#### (3) 桜木・平戸・弥生台線の用地買収(立ち退き)地の今後の予定について

- 今まで費用はいくらかかっているのか。中止になっているのはいつからか。希望的な観測ではなくトンネルが出来ないのであればはっきりと言ってもらいたい。
- ◇ トンネルの予算は60億～70億と考えられる。今までは、総事業費127億(進捗率は44%)50億程度(用地買収等)費用がかかっている。平成20年辺りから工事は停止になっている。用地買収とも事業中である。
- 平戸小入口の信号から抜けていく道が30km規制になっている。道路はスピード超過(の車があるので)危ない。
- ◇ ゾーン30kmは看板が入口と出口にある。通常の規制であると考えられる。狭い道路であると、ガードレールが作ることができない。

#### (意見交換等)

- 空家に草が生い茂り、電力会社、神奈中バスが伐採に来たが、切るのは枝が通行の邪魔になっている道路側。どこに相談したらいいか。一昨年くらいに、区の担当者が来た。
- ◇ 空家対策特別措置法施行前までは、区役所でも所有者の特定ができなかった。区職員は調査に伺ったのではないかと。所有者が特定できたものはご連絡して対処している。

## 平戸平和台地区

### 1 防犯カメラの設置について

- ◇ 区内の犯罪の発生状況、防犯カメラの有用性、最近の特殊詐欺の様態、防犯カメラによる抑止効果、設置に当たっての相談等（戸塚警察署）。防犯カメラの設置で町内会が担う役割、補助制度と設置経費概算等（区）。
- 平戸1丁目～3丁目には防犯カメラが設置されているのか。
- ◇ 今日は詳細データを持参していないが、東戸塚駅周辺に多く設置されている。
- 設置に伴う自治会町内会の負担はどれほどか。
- ◇ 自治会町内会の負担は総額の1/10、補助金の上限は324,000円。

### 2 横浜市の空家対策について

- ◇ 特定空家の定義、空家の推計値、空家の増加等の経年推移、法律の制定とこれに基づく行政対応の流れ、地域の方々にご相談いただける施策や窓口のご案内。
- 住んでいる方がいてごみ屋敷となっている場合の対応は。
- ◇ 区役所の福祉保健課が窓口となり対応しています。
- 町内会で草刈りをしている。土木事務所で行ってもらえないか。
- ◇ 民地に勝手に入ることも、すべての空地の草刈りを行政が行うこともできません。

### 3 市内の空家を居場所等に活用している事例紹介と地域での取組について

- ◇ 居場所の様態、戸塚区内の実例、支援制度等を紹介し、地域包括ケアシステムの概要と居場所について解説。「誰でも利用できるみんなの家」としての空家活用の説明（戸塚区社会福祉協議会）。「空き家活用プロジェクト」の紹介（平戸地域ケアプラザ）。
- 横浜市の取組は、住んでいてよかったと思える街を作っていくことと理解した。このためには、以前の事例の良い点を新たな施設に生かすことが大切。地域のみんなで良い施設にしていくため、様々な取組の中でこの地域に役に立つ点を伝えてほしい。
- 居場所をこの地域に設けることは一人ではできないこと。お集りの皆様の中で是非、この居場所の設立や運営にご協力いただける方が出てほしいと思う。この地域の居場所はみんなの力で下から積み上げて作っていきたいと思うので皆様のご協力をお願いします。

#### （意見交換等）

- （空家ではない家の）庭木が道路にはみ出し見通しが悪い。
- ◇ 切ることをお願いする権利があるが、勝手に切ることはできない。公道にはみ出ている場合は、土木事務所でも可能な場合もある。

## 上矢部地区

### 1 防犯カメラの設置について

- ◇ 防犯カメラの有用性（抑止効果、犯人の検挙に繋がる）を説明。自治会町内会で防犯カメラを設置する場合の補助制度と一般的な設置経費の概算等を紹介。既に実施している地域の見守り活動等と組み合わせて、地区の防犯・事故防止に繋げてほしい。

### 2 上矢部あおぞら公園について

- ◇ 10年前にワークショップを経て設置した経緯、トイレが繰り返し壊されること、公園愛護会がない等の現状を説明。今後の使い方や愛護会設立に向け、話し合いの場を設けたい。

### 3 開発によって誕生したマンションの連合町内会への加入等について

- ◇ 自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書を参照し、加入に向けての取組を説明。加入率や、加入促進に向けて行政として取り組んでいる内容・支援制度等を紹介。連合未加入マンションでも管理組合は防災意識が高く、防災対策での連携が考えられる。

### 4 平成29年度 戸塚区運営方針について

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取り組みの考え方」を解説し、運営方針に掲載されている平成29年度に実施する主な事業を紹介。

#### (意見交換等)

- 防犯カメラは設置されてから5年間しか使えないのか。
- ◇ 税金を使っているのでも5年間は使い続けていただきたい。なお、その後、カメラは引き続き使用してもらうことは可能。
- 防犯カメラがあるということがわかると、カメラの監視がない他の場所で犯罪を起こすのではないか。犯人の検挙に繋げるには隠しカメラのほうがよいのでは。
- ◇ そういった考え方もあるが、抑止力の面から設置は有効と考えている。
- トイレを壊しているのは近くの学校の生徒だと思う。なぜ壊すのか。
- ◇ 明確な答えを持っている訳ではないが、日本に限らずトイレは壊す対象になりやすい。
- 町内会費を支払ってなくてもゴミ集積場は使用できるのか。
- ◇ 感情的にしこりがあるのは理解できるが、使用は認めている。

## 名瀬地区

### 1 平成29年度 戸塚区運営方針について

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取り組みの考え方」を解説し、運営方針に掲載されている平成29年度に実施する主な事業を紹介。

### 2 「とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)」

#### (1) とつかハートプランについて

- ◇ 戸塚区の地域福祉保健計画の趣旨・概要を解説

#### (2) 名瀬地区のハートプランの取り組みについて

- 「安全・安心、福祉のまち名瀬」の様々な取り組みを紹介。①新たなボランティア、担い手づくり(ボランティア連絡会、はこべの会、ラブリーなせ など)、②水と緑の資源を生かした地域づくり(名瀬のまちを歩こうウォーキング大会)、③地域交流・多世代交流ができる場づくり(運動会、敬老の日祝賀会、文化教室、モーモークラブ など)、新しい取り組み(16歩の会、桜カフェ ひとやすみ)
- ハートプランで作成したDVD「こんなにたくさん! 地域の見どころ」を視聴
- DVDは各地域に配布されたのか。
- 配布はしていないが、町内会・自治会に回覧し、貸出できるようにした。

#### (3) これからの取り組みについて

- 第3期プランでは、今までやってきたボランティアグループ活動等をさらに発展させていく。新たに取り組むべきことが出てくると思うので皆さんで話し合ってもらいたい。名瀬地域ケアプラザと特別養護老人ホーム太陽の國で、障害のある方などを対象に、送迎バスを使った買い物ツアーの企画がある。名瀬の北側の緑地保全地帯で里山づくりが行われている。自由に出入りできない保護地区だが、子供の教育に役立てられないかなども検討中。
- 「桜カフェひとやすみ」は、妙法寺さんや地区社協、ケアプラザ、民生委員など皆様のご協力をいただき始めた。認知症の方、ご家族の方たちがほっとできる場所にしたい。いろいろな広報誌に掲載していただき、有難いと思っている。対象者は明確に記載していない。認知症の方を対象と記載すると来づらい方もいると思う。定着してきたら、また報告する。
- 総合相談窓口に「買い物に行くのが大変」という声が寄せられ、潜在的に他の地域でも要望があると考え、太陽の國に相談して、協力してやろうということになった。すぐにできるものでもなく、どこに行くのか、週に何回やるのか、誰が運転するのかなど課題もたくさんあるので、これから皆さんと一緒に考えていきたい。

#### (意見交換等)

- 現在、配食サービスを行っているが、配達の手が高齢化などで、活動を継続できなくなるという課題がある。この課題が解決できればお弁当を配りながらの高齢者の見守り活動なども続けていけると思う。先ほどの買い物支援の取組に関連して相談させてもらえるとありがたい。

## 大正地区

### 1 「大正地区ハートプランの推進」

#### (1) 大正中学校創立70周年を迎えて

- 大正中学校の70年の流れと学校の取り組みについて
  - ・1950年代～各年代毎の写真スライドを用いて折々の学校行事等を紹介。
  - ・大正中学校は、平成28年に優秀教育実践校に選ばれている。
  - ・地域との結びつきが強く、大正フェスタへの出演、ジュニアキャンプ、あいさつ運動や校内見回り運動等を通じて深く地域と関わっている。
  - ・特別支援教育の視点を含めた授業に取り組み、社会性の育成・自己有用感の創出を図っている。

#### (2) ケアプラザと地域との関わり

- 本年7月に開所した深谷俣野地域ケアプラザのリーフレット等配布資料を用いて地域ケアプラザの機能・部署・専門職・業務内容などを紹介。  
大正地区の皆様が取り組んでいる事業の中から「グループ知恵の輪」の活動と、大正地区内で営まれている各サロン「コミュニティサロンかわせみ」、「ラクラクサロン」、「影取町サロン」等の活動を紹介。

#### (3) 振り込み詐欺の最近の手口(警察講話)

- 詐欺注意チラシや振込詐欺に関するアンケート等の配布資料を用いた、安全安心のための講話
  - ① 警察による犯罪・防犯の地域対応状況等
  - ② 県内の詐欺発生状況は、被害届出数が約4万件で、被害額が29億にのぼる
  - ③ 振り込み詐欺の大半がキャッシュカードを利用した詐欺である
  - ④ 詐欺の手口や事例を紹介し、市民の皆様が注意すべき事項について説明

## 汲沢地区

### 1 汲沢地区社会福祉協議会より報告

- 本年3月末実施の地域アンケート調査中間発表。回収率は41%（811世帯／1,994世帯）
  - ①近隣との付き合いがある87%、付き合いの程度は立ち話をする42%、あいさつ程度35%
  - ②相談やおしゃべりの場が必要76%
  - ③相談等の場として現在の町内会館等がよい76%

### 2 交通安全母の会の活動について

- 交通安全母の会の概要、戸塚区における活動内容、交通事故防止を目的とする協力団体、汲沢地区連合での活動（はまっこ交通安全教室、スクールゾーン協議会、高齢者交通安全教室、広報車による地域巡回ルート、啓発活動として新入学児へのお祝い など）、活動の重点項目（夕暮れ時のドライブには車のライトを早めに点灯、チャイルドシートの正しい装着などを呼び掛けている）

### 3 高齢者交通安全 と 4 安全安心について(警察講話)

- ◇ 啓発DVD（2編）を鑑賞した後、交通安全のために留意すべき事項、詐欺等の実態や対処方法などの講話

### 5 深谷通信所跡地利用の基本計画について

- ◇ 深谷通信所跡地利用基本計画（案）に基づき、基本計画の考え方、公共施設の整備（平常時）、防災機能の確保（災害時）、概算事業費とスケジュール、意見募集等を説明
- 災害時は墓地に仮設住宅を作るのか。
- 納骨ができるようになる時期はいつか。
- 現在の鎌倉道は残すのか。

### 6 平成29年度 戸塚区運営方針について

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取り組みの考え方」を解説し、運営方針に掲載されている平成29年度に実施する主な事業を紹介。

## 上倉田地区

### 1 戸塚駅東口バスターミナルの混雑緩和対策について

- 以前戸塚の大踏切があった頃に、西口の横浜駅行バス路線が東口に移った。現在東口バスロータリーは非常に混んでいる。アンダーパスが開通し踏切の問題が解消したことから、横浜駅行バス路線を西口へ移せば、東口にゆとりができ、混雑が解決すると思われる。
- ◇ 地域の方々、バス会社等の事業者や関係課が参加した検討会を行っており、バリアフリーの観点を含め、路線の変更（東口→西口）に関する調整も行っている。
- 両バス会社の本件に関する認識は同じなのか。
- ◇ 混雑しているとの認識においては、基本的には同じです。

### 2 戸塚駅→大船駅方面「県道大船停車場線・矢部線」の歩道幅拡充

- 歩道の幅は乳母車が通れることが必要で、車道に降りなければならない事態にならないことが求められる。電柱が歩道を狭くしている個所もあり、移設も考えてほしい。
- ◇ 上倉田南バス停付近では、南北両側、用地取得交渉は本年度をめぐり事業を行っている。電柱の移設は、道の反対側への移設も検討するなど考えていくが、難しい課題。
- 無電柱化、地下化に関する市の方針はあるか。
- ◇ 歩道の下に格納するので、歩道の整備を先に行うことが必要となると考える。

### 3 戸塚駅東口の地下コンコースへのラピス3号館側からの連絡通路(階段等)の増設

- ラピス3から地下へ抜ける階段がない。このためバスターミナルの中を横断している。混雑しているときは危険がある。
- ◇ 連絡通路は、地下鉄コンコースからラピス3号館付近の間を地上より掘削して行う工事となる。6～8番乗り場の地下1階にはJR施設があり、上部ペデストリアンデッキや、バス運行への影響などを考慮する必要がある。供用後の施設運営や維持管理に係る費用、防犯対策など、様々な課題があり、設置は難しいと考える。

### 4 戸塚スポーツセンター北側通路の放置自転車等が通行に支障をきたし、改善が望まれる

- 放置自転車協議会、安全協会、母の会で啓発活動を行っているが、一向に改善しない。警告札があっても、人がいなくなると、また戻ってきて止める。年2回キャンペーンを行っているが、虚しさがある。
- ◇ 今までは大型バイクは市では対応できなかったが、市の特別対応で50CCを超えるバイクも対応した。事前周知を行い、警告札を貼り、地域の方々の立会の下移動作業を実施。今後の対策は、①大型バイクの移動作業効果を見極め、継続実施の判断。②暫定的にパイプで停めにくい環境とした効果の見極め。③車両の侵入路を狭める対策を検討。

#### (意見交換等)

- 柏尾川を暗きょにしてバス停にしてはどうか。以前、「河川法」でできないと言われた。
- ◇ 蓋掛けすると流れが悪くなり、溢水の危険が増す。河川法は安全を確保する法律。
- 戸塚駅東口はタクシーに乗るのが不便。階段を上るので高齢者が困っている。
- 再開発の話はある。住みよいまちづくり協議会、第2回は29年度と聞いている。
- 柏尾川は高島橋から先1km以上橋がない。京都の鴨川のように川中に置石があると良い。



## 下倉田地区

### 1 下倉田地区の安全・安心まちづくり

#### (1) 交通安全に対する取り組み

- 戸塚交通安全協会下倉田支部代表より、同協会下倉田地区の陣容や年間スケジュール、活動状況等について紹介

#### (2) 地域の子供達に対する交通安全対策

- 下倉田交通安全母の会の代表より、同団体の成り立ちや活動状況について紹介、横浜市道路局が作成した自転車のルールブックや、啓発グッズについても紹介。

#### (3) 防災活動への取り組み

- 下倉田地区連合会の相談役より、同地区の防災活動全般について発表。地区内に2つある地域防災拠点に係わる活動や、連合まつりへのブース出展、防災ライセンスへの取り組み、県重要文化財防災訓練等について紹介

### 2 土砂災害警戒区域内に林立する木々の枝落とし、剪定

- ◇ 当該地域は民地であり、登記簿により、所有者は2法人と確認した。連絡が取れた法人には対応を要請したが、当該法人ではすぐには対応できないと回答。
- 緊急避難的に周辺住民が切ってもよいのか。
- ◇ 民有地は行政では手が出せない。地域住民も本人の承諾を得なければいけない。道路にはみ出ていれば、対応は可能。

### 3 横浜藤沢線 今後の工事の予定は

- ◇ 当該未整備区間は、27年度頃までの着手を目標としていた区間があるが、事業中の路線整備に集中的に取り組んできたため着手できていない。28年の見直しによる事業着手目標時期は、桂町戸塚遠藤線から戸塚大船線までの区間は32年度頃まで、環状3号線から下永谷大船線までは37年度頃まで、下永谷大船線から戸塚大船線までは32年度頃までとしている。着手時期は他の路線の進捗などにより再度前後することがあり、一般的には着手から完成までは10年以上かかる。
- 市の土地と私有地があり、約10年前に2回崩れた。崩れないように手当てできないか。
- ◇ 民地と市有地が混在し制度で対応できない。運用での対応を検討中だが難しい状況。

### 4 子育て支援に関する区行政の対応策

- 出生数が年間100万人を切り、少子化を懸念。将来を見据えた出生率の向上や子育て支援施策を聞きたい。私の地域では、出産した人にお祝い金を出すことを始めた。
- ◇ 戸塚区における子育て支援と横浜市の保育所等利用の待機児童数について説明。
- お母さんにとって支援は縦割りでなく、一貫してあるとよい。連携して子育て支援があれば、安心して支援が受けられる。それを考慮して進めて欲しい。
- ◇ 3年前から学校支援・地域連携課を設置し、切れ目無いように支援している。学校、区にそれぞれカウンセラーを配置している。対応は連携している。

#### (意見交換等)

- みんなのサイクルルールブックよこはまのPRをぜひやって欲しい。
- 交通安全母の会で各戸配布を検討する。
- 犬の散歩。糞尿が臭う。散歩中の犬に、プランターの花に向けて尿をさせている人がいた。この問題は連合でも考えよう。
- 皆で考えていかないといけない。地域で注意していこう。

## 吉田矢部地区

### 1 戸塚駅東口付近の交通対策と柏尾川沿いの水辺の魅力向上について

- ◇ 戸塚区担当よりテーマに関する現状等について説明。
- 矢部跨線人道橋。直す場合どこが費用を負担するのか。
- ◇ 補修は横浜市が費用を負担し、JRが工事を行う。
- 柏尾川に鮎を遡上させる取組。ブリジストン付近の橋に堰の跡があり、遡上の妨げになっている。鮎を遡上できるようにする工事はいつ行われるのか。
- ◇ 台風の時期が終わって水位が下がったときに県が工事を予定していると聞いている。
- 柏尾川はどのくらいの雨量に対応しているのか。
- ◇ 時間当たり50mmの雨量に対応。金井公園第1遊水地の近くに第2遊水地を県が整備予定。
- 雨天時の送迎の車で駅周辺が渋滞していることを課題に加えたい。これらの課題をどのようなスケジュールで対応していくのか。
- ◇ 昨年度12月に「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議」を開催し、2月に意見募集を行った。次回の会議には当該地域からもご参加いただきたい。計画をまとめる期間は本年度中に行いたい。
- 喫煙エリアは決定か。灰皿のみの設置ではなく周囲を囲い煙が出ないようにするのか。
- ◇ 現在、意見をお聞きしているところで、今後、市会へ条例改正を提案していきます。受動喫煙を防止する対策が中心となっています。
- バス乗り場の混雑の原因はバスを待っている学生が多いことがある、早急な解決を望む。また、利用しているバスの本数も少ない。
- ◇ 上倉田町界隈を歩いて通学している学生に対する苦情もある。大学では、チャーターバスの運行も検討されている。
- 学生に戸塚の街が楽しい街であってほしいと思う。一緒に解決を。
- 戸塚での大学生活は2年間。徒歩通学は地域にとって防犯上のメリットもあると思う。